

夕刊 読者 新聞 福岡 3版 8

ママ記者の新聞 無料公開

経験や知恵 企業向けに

子育て世帯へメール

子育て中の母親たちが日々の思いを発信する情報紙「月刊お母さん業界新聞」が、希望する企業の社内メールなどを利用して、子育て世代に無料公開されている。新型コロナウイルスの感染拡大で学校の休校や外出の自粛要請が続き、家庭で奮闘する親たちに「悩んでいるのは自分だけではない」とエールを送る狙いだ。

新聞を発行しているのは、福岡を拠点とする「お母さん業界新聞社（お母さん大学）」（横浜市）。子育てに奮闘した親に育児の喜びや悩みを発信・共有する場を提供しようとして、2006年に創刊した。会員（年会費6000円）や公共施設に配布し、現在は7万部の全国版（タフロード判、8頁）に加え、横浜、静岡、大阪、ちっぴ（福岡）の4版を出している。

「大変な時だからこそ、全国のお母さんの生の声に触れてほしい」と語る池田さん

「お母さん業界新聞社」が、希望する企業の社内メールなどを利用して、子育て世代に無料公開されている。新型コロナウイルスの感染拡大で学校の休校や外出の自粛要請が続き、家庭で奮闘する親たちに「悩んでいるのは自分だけではない」とエールを送る狙いだ。

新聞を発行しているのは、福岡を拠点とする「お母さん業界新聞社（お母さん大学）」（横浜市）。子育てに奮闘した親に育児の喜びや悩みを発信・共有する場を提供しようとして、2006年に創刊した。会員（年会費6000円）や公共施設に配布し、現在は7万部の全国版（タフロード判、8頁）に加え、横浜、静岡、大阪、ちっぴ（福岡）の4版を出している。

「大変な時だからこそ、全国のお母さんの生の声に触れてほしい」と語る池田さん

「お母さん業界新聞社」が、希望する企業の社内メールなどを利用して、子育て世代に無料公開されている。新型コロナウイルスの感染拡大で学校の休校や外出の自粛要請が続き、家庭で奮闘する親たちに「悩んでいるのは自分だけではない」とエールを送る狙いだ。

新聞を発行しているのは、福岡を拠点とする「お母さん業界新聞社（お母さん大学）」（横浜市）。子育てに奮闘した親に育児の喜びや悩みを発信・共有する場を提供しようとして、2006年に創刊した。会員（年会費6000円）や公共施設に配布し、現在は7万部の全国版（タフロード判、8頁）に加え、横浜、静岡、大阪、ちっぴ（福岡）の4版を出している。

「大変な時だからこそ、全国のお母さんの生の声に触れてほしい」と語る池田さん

2020.4.8 読売新聞福岡版

夕刊 読者 新聞 福岡 3版 10

ママ記者新聞 無料公開

知恵や経験 企業向けに

在宅勤務の育児後押し

子育て中の母親たちが日々の思いを発信する情報紙「月刊お母さん業界新聞」が、希望する企業の社内メールなどを利用して、子育て世代に無料公開されている。新型コロナウイルスの感染拡大で学校の休校や外出の自粛要請が続き、家庭で奮闘する親たちに「悩んでいるのは自分だけではない」とエールを送る狙いだ。

新聞を発行しているのは、福岡を拠点とする「お母さん業界新聞社（お母さん大学）」（横浜市）。子育てに奮闘した親に育児の喜びや悩みを発信・共有する場を提供しようとして、2006年に創刊した。会員（年会費6000円）や公共施設に配布し、現在は7万部の全国版（タフロード判、8頁）に加え、横浜、静岡、大阪、ちっぴ（福岡）の4版を出している。

「大変な時だからこそ、全国のお母さんの生の声に触れてほしい」と語る池田さん

「お母さん業界新聞社」が、希望する企業の社内メールなどを利用して、子育て世代に無料公開されている。新型コロナウイルスの感染拡大で学校の休校や外出の自粛要請が続き、家庭で奮闘する親たちに「悩んでいるのは自分だけではない」とエールを送る狙いだ。

新聞を発行しているのは、福岡を拠点とする「お母さん業界新聞社（お母さん大学）」（横浜市）。子育てに奮闘した親に育児の喜びや悩みを発信・共有する場を提供しようとして、2006年に創刊した。会員（年会費6000円）や公共施設に配布し、現在は7万部の全国版（タフロード判、8頁）に加え、横浜、静岡、大阪、ちっぴ（福岡）の4版を出している。

「大変な時だからこそ、全国のお母さんの生の声に触れてほしい」と語る池田さん

2020.4.9 読売新聞首都圏版

水星へ最初の

日欧探査機の水星までの道のり

2018年に打ち上げられた日欧の水星探査機2機が10日午後、地球の重力を利用して軌道を変える「スイングバイ」に挑む。25年末の水星到着まで約88億キロ、およそ長旅の最初の関門で、成功すれば、地球を離れた

20年4月10日初のスイングバイ。地球に接近して減速

2013年10月打ち上げ

金星に2回接近して減速

金星に6回接近して減速した後、25年12月に水星の周回軌道に投入へ

※アリアンスペース社の資料を基に作成

2020.4.9 読売新聞福岡版

転勤延期? 揺れる海保

15日付で予定 コロナ拡大懸念

海保は異動時期の検討を開始。当初通り異動するが、赴任の自治体の要請に従って外出自粛などを要する時期を後へずらす案が出てくるという。

15日付で東京から地方へ転勤予定の30歳の男性職員は「尚遣りもほぼ終わった」という。

15日付で予定 コロナ拡大懸念

企業などに感染リスクなどから異動に影響が出ている。村田製作所は4月と5月の異動を伴う異動を延期。3月住友銀行も数千人が対象の4月1日付の異動を同月下旬以降に変更している。

海保は異動時期の検討を開始。当初通り異動するが、赴任の自治体の要請に従って外出自粛などを要する時期を後へずらす案が出てくるという。

15日付で東京から地方へ転勤予定の30歳の男性職員は「尚遣りもほぼ終わった」という。

15日付で予定 コロナ拡大懸念

企業などに感染リスクなどから異動に影響が出ている。村田製作所は4月と5月の異動を伴う異動を延期。3月住友銀行も数千人が対象の4月1日付の異動を同月下旬以降に変更している。

2020.4.9 読売新聞首都圏版

産 経 新 聞

地域ニュース

お母さん業界新聞にメール版→ 子育て「あるある」 コロナ疲れ癒やす

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために学校の臨時休校が続く中、全国の母親に多くの子育て情報紙「月刊お母さん業界新聞」が、えり抜きの記事を毎月届ける「メール版」を無料で配信している。同じ「お母さん」の立場から書いた記事を読める人が読むことで、不安や悩みを少しでも解消しようとしている。

「同紙は「孤育を支援しよう」を合言葉に、お母さん業界新聞社（横浜市）が発行、同社のウェブサイトに「お母さん大学」に入學し、記者登録した主婦らが「お母さん記者」として執筆・編集し、子育ての情報や発見など幅広い日常をリアルに発信している。メール版の配信は8月から始めた。新型コロナウイルスの影響で休校が続く、子供の世話に追われる母親たちの疲れを癒やすつもりが狙い。事前に登録するだけで、パソコンや携帯電話で平日の午前10時以降にメール版の配信を受けることができる。内容は同紙の記事から「横浜版」「大阪版」などのエリア版の編集長らが選んだ母親目線の「子育て」に関する記事が中心。母親同士が悩みを共有する場になり、編集部には「通勤ラッシュのイライラ」や「お母さん」のメール版を見て

一人ひとりに合わせた「朝のメール」を楽しみに頑張ろう」などのコメントが寄せられている。大阪版の宇賀佐智子編集長(55)は「子供を守るには母親の笑顔が一番。子供たちの免疫力アップにもつながります。メール版でお母さんたちの気持ちがあがってもいいかな」と話している。

メール版は、スマートフォンでQRコード(右)を読み取り、表示されるメールアドレスに空メールを送信すれば登録できる。登録・配信は無料だが、受信時の通信料は自己負担。新聞の大阪版は大阪市内の図書館など公共施設のほか、パナソニックセンター大阪(同市北区)などで無料配布している。

問い合わせは同紙大阪編集部(osaka.okasan@gmail.com)。



「月刊お母さん業界新聞大阪版」のお母さん記者たち — 大阪市平野区

2020.4.11 産経新聞

「業界新聞」オンライン版 無料配信

ママさんの知恵、生活イベント

子育て中の親たちが日々の思いや、子育ての知恵を発信する月刊紙「お母さん業界新聞」が、新型コロナウイルスの感染拡大が終息するまでの当の間、団体や企業に向けてオンライン版を無料配信している。静岡版編集長の田村由佳利さん(50)は「読むことで明るい気持ちになったり、生活のヒントにつながれば」と話している。

(細谷真里)

三千年ほど前に創刊したお母さん業界新聞は、トランタンネットワーク新聞社(横浜市神奈川区)が発行する。全国版と静岡版などの地域版などがあり、発行部数は15万部。子育てする全国の親たちが、親目線で「MJ(マザージャーナリスト)」として子育てや教育、社会の出来事を発信することが特徴。インターネットサイト「お母さん大学」も運営する。紙面は通常、静岡市内の公共施設で無料配布している。一休校や在宅ワークなど、いつもと違う状況の子育てが続き、疲れている親たちが笑顔になっ「て」とオンライン版の無料配信を始めた。

静岡版は静岡市や藤枝市の四人が編集に携わる。日々の子育ての中で感じる「てや、県内のお薦めスポット、豆知識などの静岡ならではの情報を盛り込んでいる。全国のお母さんたちが休校中の親子の日替りや、家で楽しく過ごすための知恵などをとった全国版の記事も読める。

田村さんは「より多くの方に知ってもらいたければ」と話している。団体や企業でのオンライン購読は、申し込みが必要。個人で読みたい場合は、郵送で受け付ける(二十五部以上は郵送料が必要)。◎田村編集長080(5)110(5)3378



静岡版の田村由佳利編集長(左から3人目)と、編集メンバーたち=静岡市駿河区で



「月刊お母さん業界新聞大阪版」のお母さん記者たち — 大阪市平野区

2020.4.11 中日新聞

きょうの天気

朝	昼	夜
松	☀️	☀️
天	☀️	☀️
北	☀️	☀️
磐	☀️	☀️
掛	☀️	☀️
御前崎	☀️	☀️
静岡	☀️	☀️
三島	☀️	☀️

きょうの天気のは5ミ
は5ミリ未満
6-24時の
のち時々 暴風降水確率
(%)

暮らしの指数

西部	🌳	中部	🌳
花	🌳	東	🌳
粉	🌳	伊	🌳

非常に多い



2020.4.19 TOKYOMX テレビタ方ニュースフラッグ



子育て情報紙を発行する「お母さん業界新聞社」（横浜市）は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、紙面データを企業に無料で提供するサービスを始めた。仕事と家庭の両立に苦心する在宅勤務中の保護者らに、企業を通じて情報を届け、経営者にも育児

在宅勤務の親 紙面で応援



「お母さん業界新聞」を手にする池田彩さん

「お母さん業界新聞」 企業にデータを無料提供

佐賀県内の記者35人で作っている。通常は郵送費も含め年間購読料が6千円かかる。新型コロナウイルスによる休校などもあり、在宅勤務を導入する企業が増えているため、社員への配信を期待して企業にPDFデータを無料提供することにした。3月号は各記者が家で子どもを観察して気付いた面白いしぐさや会話を特集。4月号はパン作りやヘアアレンジなど家での遊び方を紹介している。ちっこ版編集長の池田彩さん（仮）は福岡県久留米市。「外出自粛で子どもも過剰ですが、昼食はごうするかと悩む保護者も多い。記事が、悩んでいるのは自分だけじゃないという励みや発見につながれば」と話す。申し込みは同社045(444)40000。(平峰麻由)

2020.4.16 西日本新聞